



山田の 鮭大漁祈願まつり

12月 9 日(日)

▷時間 午前9時半～午後2時

※受け付けは午前9時からです。

▷場所 織笠川河川公園

◆内容 ▶サケのつかみ捕り(オスのみ1日2回実施。状況に応じて回数を増やします)▶水産物の直売・出店コーナー▶食堂(鮭汁、ハラッコーどんほか)▶えびすまき・お楽しみ抽選会

◆参加料 サケのつかみ捕り…1,000円(1人1尾まで)

◆問い合わせ 町水産商工課(☎82-3111内線224) へどうぞ。

惜しい人

10月22日、訃報を耳にしました。それは齋藤忠雄様の死去の報だった。故齋藤様は広報やまだのみんなのスペース欄に毎月毎号欠かさず原稿を寄せ、老

館活動の一環として行われる世代間交流行事などにも参加し、小学生たちにしめ縄作りなど、昔ながらのしきたりを後世に伝える指導をするなど、数えれば限りがなく、船越地域の生き字引を失ったような気がします。急な事で原稿のまとまりがつかみませんが、今私の頭にある部分を投稿しますのでお読みなっ

みんなのスペース

皆さんから寄せられたお便りや作品を紹介します。「広報やまだ」の感想などもお寄せください。

若男女の行事・催し事に参加し、内容を事細かくまとめて町民一人一人に伝えてくれた貴重な存在であったように思える。

また文化祭などにも自作品を出展。独特の技法の鉛筆画で似顔絵を描き、会場を盛り上げた。加えて公民

た方は、それぞれ故齋藤忠雄様の人柄をしのびながら、足りない分をまとめてもらうことにします。ですのでよろしくお願いいたします。

西館 隆(船越・?)

何世紀経とうが

5月24日が来る

先の大戦から15年。自由と平和の中の昭和35年5月24日、この日は入合漁場の天然ワカメの開口日であった。大浦のワカメは昔より、品質において日本一との賞賛の栄に輝く優秀なるものである。ワカメ生産は地方の経済の発展に大きく貢献し、我々漁業者の地位と生活の向上

山崎卓三(大浦・?)

文化祭の季節

秋山が色づき始めるころになると、文化祭の季節。織笠小学校でも10月27日、作品展とステージ発表会の催しがありました。会場に入ると、学年ごとに作品が所狭しと展示されていて、その時すでに海には異常な現象が起きていた。よく見ると潮位が急激に変化し、船の対応が難しい。「今日は、無理、だめ」と、家に

帰ると同時に、海の方から物凄く大きな叫び声。何を騒いでんのか分かんなかったが、父親が「何?津波?」と急いで出て行く。津波:「ホラ」だべえ。でも、集落中が上へ下へと騒然となっている。津波なんて「ホラ」。その証拠に「地震」がない。昔、祖母から「大きな地震の後には必ず津波が来る、何も物を持たねえで誰よりも早く高いところへ」と教えられていた。まさかであった。津波の歴史に地震のない津波の記録を刻んだのがこの津波である。

命のXMAS クリスマス 福詩の支えあって、今年も生きれたよ 命のXMAS 佐藤 啓子(山田・?) 児童たちと先生方が力を合わせて、震災とは思えない勇氣と希望と感動を私たちに与えてくださり喜んでおります。ただただ絶賛でした。 展示会が終わるころになると初冬が近づいています。 菊地サカエ(織笠・77)

やまだ文芸広場

ふるさとの水なき小川の水車 廻らぬ風情のさみしさ想う 内館 洋一(飯岡・69)

あなたの作品を 大募集中!

イラスト 写真 文芸 投稿

◆あて先・問い合わせ 〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報係(内線417) へどうぞ。